

福井 洞窟

Fukui cave



国道 県道 市道 電車
 見学ルート
 福井洞窟と
 カイダンス館跡予定地
 主な見学場所
 石橋郡 周知文化財
 福井川橋梁 吉田橋梁 吉井川橋梁

住 所 吉井町福井字岩下1013
 交 通 国道204号「住吉」交差点から
 福井洞窟・直谷城址方面へ
 西総バス松岡行・下福井バス停
 から徒歩5分
 駐車場 あり(無料)
 見学時間 9～17時(年末年始を除く)
 連絡先 佐世保市教育委員会
 文化財課
 TEL(0956)24-1111

スマートフォンサイトは
こちらから



<https://www.fukuicave.jp/wg/>

佐世保市教育委員会
Sasebo City Board of Education

日本列島の南西部に位置する佐世保市。

そこは、大陸からみた「東の玄関口」です。

時をさかのぼること1万9千年前、

私たちと同じ「ホモ・サピエンス」がユーラシア大陸で

洞窟の壁面に原始絵画を描いていた頃、

既に東アジアに渡っていた人類は

草原や洞窟をあちこち遊動しながら

生活する「狩猟採集」の生活を営んでいました。

その頃の暮らしぶりが、他の遺跡と比べて

際立ってよく残っている遺跡が

この「福井洞窟」です。

福井洞窟

そもそも日本列島に人類が進出したのは約4万年前の旧石器時代。寒冷な氷河期を生きた旧石器人は、オオツノジカなどの大型獲物を求め遊動生活を送っていました。続く縄文時代は約1万5～6000年前に始まります。だんだんと温暖化に向かっていきますが、そこに至るまでの気候変動は今日では考えられない過酷な環境だったと言われています。そうした過酷な環境の中、人類が生み出した狩猟具が「細石刃」と呼ばれる「組合せによる槍」の道具です。カミソリの刃のような形をしたこの石器は、骨や木の側面に植め込んで使われます。刃が欠けると付け替えがきくだけでなく、刃を増やすことで一つの石からつくる槍などの道具よりも大きな狩猟具を作ることができる革新的な道具でした。

約1万1000年前頃になると、温暖な気候となり森がだんだんと広がって、大型動物に代わってイノシシやシカ、ウサギやタヌキなどの中・小型動物が増えました。素早い動物を狩る弓矢や、煮炊きに使用する土器の出現により、人々は「ムラ」を営んで「定住」するようになります。そこには文物以外にも情報が集まり、技術が継承され、精神性が高まっていきます。こうして作られた文化が縄文文化です。自然と共存・共鳴するその文化は、現在の日本文化の基層をなすものとも言われています。

福井洞窟に生きた人類の痕跡を読み解くことで、旧石器時代から縄文時代への移り変わる、この壮絶な変動期を生きぬいた人類の歴史が見えてくるのです。

福井洞窟

標高：110m

間口：16.4m×奥行5.5m×底高4m

01 福井洞窟の発見から史跡指定へ

福井洞窟は松浦市との境に近い九州西北部佐世保市吉井町福井にあります。およそ50年前、日本の歴史の始まりを考える上で重要な発見がこの洞窟でありました。

昭和35（1960）年、当時日本列島の起源を探るために洞窟遺跡を重要視していた日本考古学協会は、旧石器・縄文時代の研究者であった芹沢長介氏、鎌木義昌氏を担当者とする調査団を結成し、昭和39年までに3回にわたる発掘調査を行いました。

この調査の結果、それまで旧石器時代のものと考えられていた「細石刃」と「縄文土器」が同じ地層から見付かり、細石刃文化の中で土器が出現したことを示したのです。旧石器時代から縄文時代への時代の移り変わりについて、発掘調査で層位的に示したことで、考古学史上、重要な成果となりました。

また、芹沢らは、当時としては導入もない科学分析であった「放射性炭素年代測定法」を用います。各地層の年代を推定し、縄文土器の出現、つまり、縄文時代のはじまりを約1万2700年前にはじまると推定し、その後の年代の指標となりました。

各地層で土器の文様や形が変化することで、縄文土器が年代によって文様などを変えていく過程が明らかになり、発掘された隆起線文土器が日本最古級の土器であると確認されました。

また、最下層の年代は当時の技術の限界値である3万2000年よりも昔と測定され、そこから安山岩製の両面加工石器が出土したことで、「後期旧石器時代」よりもさらに古い「前期旧石器時代」に人類が日本列島に到達した足跡をも秘めていると考えられています。

学術上、また歴史上重要な成果から昭和53（1978）年、国の史跡として指定を受けました。



昭和35（1960）年 福井洞窟 第1次調査の様子



昭和35～39年（1960～65）の出土資料
（鎌木・芹沢1967より転載）



福井洞窟の発見と松瀬順一
神社の拝殿わきに昭和十一年の改築建立記念碑がたっている。この改築の際、大きくした神社本殿を安置するため、洞窟の地面を1mほど掘削した。その土砂の中から土器や鐵が地元郷土史家松瀬順一氏により発見され、遺跡として知られるようになる。
松瀬は二十歳ころ芋畑で鐵を見つけたのが動機となり考古学の道に没頭する。また、「書画」（俳句）「えびね閣」への造形も深く、俳人や考古学者とも親交をもっていた。その功績は、吉井町第一号の名譽町民として、また勲六等瑞宝章授与として高く評価されている。
氏の人物をしのぶ家訓が松瀬家に残っている（「嘘言わす」）「怠らず」「盗みせず」。

02 再発掘調査と史跡整備

平成17（2005）年に旧吉井町と合併し、本市は全国最多となる31の洞窟遺跡を持つ都市になりました。これをきっかけに本市は福井洞窟をまちづくりに役立てるための基本構想を策定し、地域のシンボルとして、教育の場として史跡を整備することが計画されました。この計画の中では、史跡を保存する工事のほか、博物館などで活用するための目的から洞窟の発掘調査を計画しました。

数年にわたる準備の末、平成23（2011）年2月から1年4月間の半世紀ぶりとなる再発掘調査が実現しました。

発掘調査の成果は、その後の整備設計や平成28（2016）年からの整備工事を行うことに活かされました。

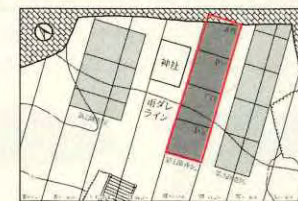
この発掘調査によって、半世紀前の調査よりもさらに鮮明に福井洞窟での暮らしぶりが明らかとなりました。それには、二つの理由がありました。

一つには、科学技術の進歩による新たな分析によって当時の動物や植物、また石材の産地や石器の作り方などが分かってきました。

もう一つには、6mをまっすぐ掘る調査の安全を技術的に確保することによって三次元の写真測量による地層の見直しにより、洞窟の成り立ちの解明につながり、長期的な調査が炉跡や石器づくりの跡の発見につながりました。これは、先学の研究者が遺跡を発見・発掘し、半世紀の間地域住民が史跡を大切に守り続け、各研究者が学術研究の進歩に貢献した軌跡の結果、できたものともいえます。



史跡整備前：洞窟には1960年代に発掘した第2トレンチ（調査坑）がそのままの状態で地層を露出展示していた（左側フェンス）。壁が崩れ、遺跡の破壊が続いていた。



発掘調査：昭和35（1960）年に調査した第1トレンチを再び再調査した。



史跡整備後：トレンチは埋め戻し人工物は撤去した。洞窟には神社のみが安置されている。日本固有の景観を保っている。

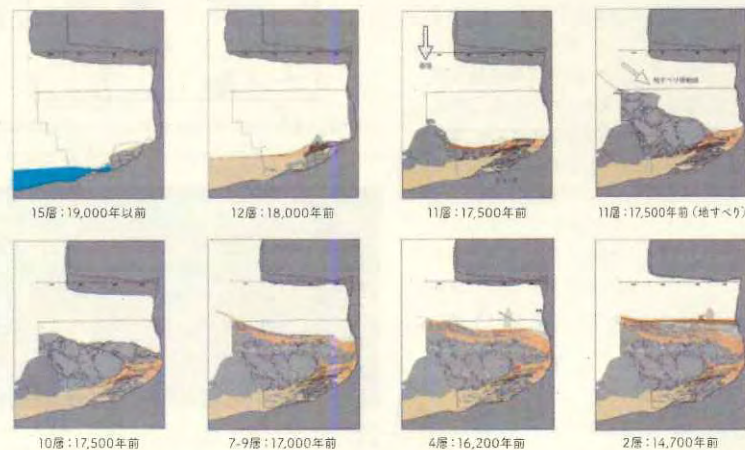
福井洞窟の過去から現在まで

地層は15層からなり、約1万9000年～1万年前の約9000年間にわたるものを確認しました。各層からは細石刃を中心とした石器や土器が約7万点出土したほか国内の旧石器洞窟では初めて炉跡や石敷を発掘しました。

残念ながら福井洞窟の始まり(14・15層)の年代は、はっきりと分かっていませんが、福井川により砂が削られたり、溜まったりする環境で川の影響がない時に旧石器人が洞窟にきて石器を作っていたようです。1万9～8000年前(13・12層)になると洞窟での暮らしぶりがはっきりとします。洞窟の中心からやや奥側に火を焚いて周りで石器をつくり、食事をしていたことが分かっています。

1万7500年前(11・10層)には、洞窟の横の地すべりをきっかけとして洞窟天井が落石し土砂が入り込む大規模な災害が起こっています。当時の人類は生活することが困難となり、洞窟から離れて生活していたことが想像されます。しかし、それほどなくして、また同じように石器づくりや火を焚いた痕跡が残っています(1万7000年前;7～9層)。この頃の洞窟は入口が狭く奥が深いほら穴のような地形で奥側はジメジメした水たまりなどがあったと考えられます。

1万6200年頃(4層)になると落石などが段々と少なくなり、洞窟の中心で動物を焼いたりして食事をしていたことが分かっています。1万4～6000年前(2・3層)では大量の細石刃がつくられています。また、それまでになかった「土器」を作るようになります。イノシシの歯なども見つかったので、土器で煮炊きして食べていたのではないのでしょうか。1万年前(1層)の地層は本殿設置により削られてしまい、よく分かりませんが、福井川で採れる安山岩から石槍を製作し、照葉樹の森の中で狩猟を行っていたことが洞窟周辺の調査から推察されます。福井洞窟周辺では、その後、弥生時代の土器が数点発見されますが、生活の痕跡は少なくなります。戦国時代になり、近くの直谷城跡の鬼門(北東)に位置するため神社が安置され、現在の福井稲荷神社の前身になったとも考えられています。



旧石器人の洞窟ぐらし



炉

炉(幅52cm×長さ60cm)約1万7700年前(12層)のもの。
洞窟中央の日当たりの良い乾燥した場所で発見。
土や石が赤く焼けたことが良くわかる良好な状態で出土した。
焼けた石は約300℃以上の熱を受けていたと推定されている。

石敷

石敷(幅2m以上×長さ1.6m)
約1万9000年前(13層)のもの。
洞窟の出入り口、岩ひさしの下あたりで検出。
角ばった玄武岩の石の平らな面を上に出している。



03 福井洞窟の出土品

福井洞窟は旧石器文化と縄文文化をつなぐ「文化の橋」

～各地層の出土品から、道具の変化が読みとれる～



第1トレンチ出土遺物

第1トレンチでは約7万点の遺物が出土しました。これまでの遺物を合わせると20万点に及ぶ可能性もあります。地層ごとに石器や土器を比べることで細かな変化の違いを読み解くことができます。そこから当時の人たちの技術や集団の個性を調べることができます。

さまざまな出土品

小さな石器の大きな狩猟具（細石刃と細石刃核）

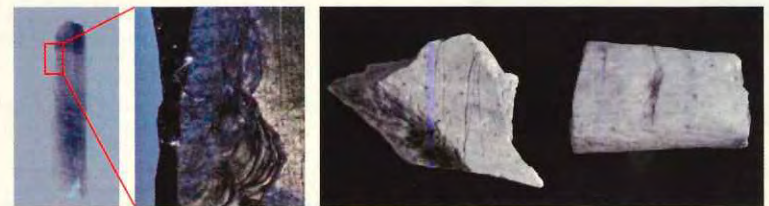


イラストのような工程で丸い黒曜石から細石刃を剥ぎ取り、槍の先端につけたり、取りかえをしたりして利用したことが分かってきました。



旧石器時代（約1万8000年前=12層）の細石刃と細石刃核。50点ほどとった細石刃核が2個体発見

縄文時代草創期（約1万3千年前）の動物骨

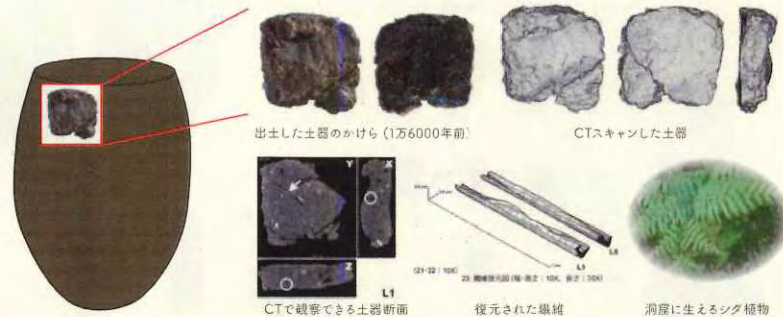


縄文時代になると水陸にまたがる資源を利用していたことが分かってきました。



土器の中からある植物を発見

遺跡から出土した土器のかげらをCTスキャンにかけてその窪みの中から復元された繊維を調べてみると・・・粘土のなかには「シダ植物」が練りこまれていることが分かりました。



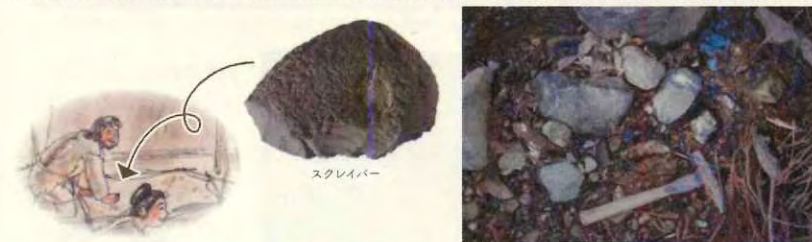
特殊な道具：有孔円盤形土製品と石製品



土製品が1点（直径65mm×厚さ5.5mm）。砂岩の石製品が2点（直径110mm×厚さ6.1mm・直径80mm×厚さ4.4mm）。いずれも中央に孔をあけています。隆起線文の有孔円盤形土製品は土器として利用したのち、第2の道具として再利用したものと考えられます。一説にはペンダントなどの装飾品、或いは集団の中心人物が頭につけるような祭祀的道具との見解もあります。土器がつくられたこの時期の土製品は世界的にみても極めて希少な事例です。

昭和38（1963）年の発掘調査で第2トレンチから出土（写真：東北大学大学院提供）

安山岩の原産地と石器



豊富な資源により定型化した石器（皮なめしの道具など）がつくられた。

福井洞窟の前を流れる福井川、安山岩の原石がたくさんとれる。

西北九州における先史時代の洞窟での営み



旧石器時代（1万8000年前）の洞窟での暮らし



旧石器時代～縄文時代（1万6000年前）の洞窟での暮らし

福井洞窟の発掘調査によって、約1万9000年前の旧石器時代から約1万年前の縄文時代までの洞窟での生活の変化が分かってきました。

欧州とは異なり日本では旧石器洞窟はほとんど見つかりません。それは、発掘調査が落石などによって旧石器時代の地層まで到達しないことも考えられますが、当時の旧石器人にとって遊動する生活では、固定した天然の居住空間は不向きだったとも考えられます。

しかし、旧石器時代も終わりにさしかかると更なる気候の変動に対して人類は新たな適応を迫られます。元々平地の少ない西北九州において砂岩地形のおりなす洞窟は大変な魅力だったことでしょう。今よりも数m大きな間口の福井洞窟では火で暖をとりながら、石器づくりを行い、明日の狩りについて相談していたかもしれません。福井洞窟の発掘調査によってこうした旧石器時代の洞窟での暮らしの様子が初めて分かってきました。

縄文時代になると、さらに居住的要素は強まります。作られる細石刃の数量は増加し、いくつもの工程が必要な「土器」が製作されます。人類の革新的道具である土器の出現がもたらした歴史のカギを握る遺跡が福井洞窟であり、近隣にある泉福寺洞窟や岩下洞穴と重ねることで、さらに重厚な人類の歴史を紐解くことができるのです。



縄文時代早期（1万年前）の洞窟での暮らし

日本の特別史跡

昭和24年(1949)1月、法隆寺金堂で火災がおこり、金堂の壁画が焼損するという出来事がありました。その後すぐに文化財を保護する法律がつくられます。文化財保護法です。戦前には、「国宝保存法」や「史蹟名勝天然紀念物保存法」などの法律がありました。文化財保護法はそれらを統合する法律です。

現在日本の文化財保護法制の特徴のひとつは、文化財を2段階で指定・保護することです。古文書や仏像、建造物などの有形文化財のうち、重要なものは重要文化財に指定され、そのうち「たぐいなき国民の宝たるもの」が国宝に指定されます。記念物には、遺跡のほか名勝地や動物・植物・地質鉱物などが含まれます。そして下表のように、遺跡のうち重要なものが史跡に指定され、そのうち「学術上の価値が特に高く、我が国文化の象徴たるもの」が特別史跡に指定されます。

史跡は現在、全国で1,795件あり、そのうちの62件が特別史跡に指定されています(平成29年11月1日現在)。千葉県千葉市の加曾利貝塚が平成29年10月13日、62件目の特別史跡となりました。ここで紹介する特別史跡は16件です。今回取り上げることができなかった特別史跡のなかには、各地の国分寺跡、日杵や大谷の磨崖仏、上野三碑、金閣寺や銀閣寺などの園池などがあります。

いずれも教科書にも出てくる著名なものばかりです。まだほかにも「我が国文化の象徴」として保存と活用を図っていかねばならない史跡があるにちがいありません。史跡を周辺環境とともに良好な形で後世に伝えていかねばなりません。特別史跡は、学術的価値が特に高いものです。その価値を私たちは広く伝えていかねばならないと考えています。

記念物の種類



史跡の種類別・時代別指定件数

平成29年11月1日現在

分類	時代					計
	原始	古代	中世	近世	近代	
貝塚・古墳等	678 (15)	15	3			696 (15)
都城跡等	1	102 (9)	183 (1)	104 (9)	6 (19)	396 (19)
社寺跡等		221 (14)	60	17		298 (14)
学校その他教育・学術・文化に関する遺跡		1	1	20	3	25 (3)
医療施設その他社会・生活に関する遺跡			3	4		7
交通施設その他経済・生産活動に関する遺跡	13	44	28	92 (2)	23 (2)	200 (2)
墳墓・碑等		10 (3)	11	57	1	79 (3)
旧宅・園池等		6	19 (2)	58 (4)	2 (6)	85 (6)
外国及び外国人に関する遺跡				7	2	9
合計	692 (15)	399 (26)	308 (3)	359 (18)	37 (62)	1,795 (62)

() 内は特別史跡で内数である

No.	都道府県名	名称	特別史跡等指定年月日	時代
1	北海道	五稜郭跡	昭和27.03.29	近世
2	青森	三内丸山遺跡	平成12.11.24	原始
3	岩手	毛越寺境内附 鎮守社跡	昭和27.11.22	古代
4	岩手	無量光院跡	昭和30.03.24	古代
5	岩手	中華寺境内	昭和54.05.22	古代
6	宮城	多賀城跡附 寺跡	昭和41.04.11	古代
7	秋田	大湯環状列石	昭和31.07.19	原始
8	茨城	旧弘道院	昭和27.03.29	近世
9	茨城	常陸国分寺跡	昭和27.03.29	古代
10	茨城	常陸国分尼寺跡	昭和27.03.29	古代
11	栃木	日光杉並木街道附 並木寄道碑	昭和31.10.31 (特天)	近世
12	栃木	大谷磨崖仏	昭和29.03.20	古代
13	群馬	多胡碑	昭和29.03.20	古代
14	群馬	山上碑及び古墳	昭和29.03.20	古代
15	群馬	金井沢碑	昭和29.03.20	古代
16	千葉	加曾利貝塚	平成29.10.13	原始
17	東京	小石川後樂園	昭和27.03.29 (特史・特名)	近世
18	東京	旧清閑堂庭園	昭和27.11.22 (特名・特史)	近世
19	東京	江戸城跡	昭和38.05.30	近世
20	福井	一乗谷朝倉氏遺跡	昭和46.07.29	中世
21	長野	尖石石群時代遺跡	昭和27.03.29	原始
22	静岡	新居関跡	昭和30.08.22	近世
23	静岡	遠江国分寺跡	昭和27.03.29	古代
24	静岡	登呂遺跡	昭和27.11.22	原始
25	愛知	名古屋城跡	昭和27.03.29	近世
26	三重	本居宣長旧宅 岡田跡	昭和28.03.31	近世
27	滋賀	安土城跡	昭和27.03.29	近世
28	滋賀	彦根城跡	昭和31.07.19	近世
29	京都	鹿苑寺(金閣寺) 庭園	昭和31.07.19 (特史・特名)	中世
30	京都	慈照寺(銀閣寺) 庭園	昭和27.03.29 (特史・特名)	中世
31	京都	醍醐寺三寶院庭園	昭和27.03.29 (特史・特名)	近世
32	大阪	百濟寺跡	昭和27.03.29	古代
33	大阪	大坂城跡	昭和30.06.24	近世
34	兵庫	姫路城跡	昭和31.11.26	近世



No.	都道府県名	名称	特別史跡等指定年月日	時代
35	奈良	山田寺跡	昭和27.03.29	古代
36	奈良	平家寺跡	昭和27.03.29	古代
37	奈良	平家宮跡	昭和27.03.29	古代
38	奈良	文殊院西古墳	昭和27.03.29	原始
39	奈良	果山古墳	昭和27.03.29	原始
40	奈良	石舞台古墳	昭和27.03.29	原始
41	奈良	藤原宮跡	昭和27.03.29	古代
42	奈良	高松塚古墳	昭和48.04.23	原始
43	奈良	平城京 左京三条二坊宮跡 庭園	昭和53.10.27 平成04.05.06 (特名)	古代
44	奈良	キトラ古墳	平成12.11.24	原始
45	和歌山	岩橋千塚古墳群	昭和27.03.29	原始
46	鳥取	斎庭寺跡	昭和27.03.29	古代
47	岡山	旧関谷学校 附 樽山・石門・ 津田永定宅 及び黄葉亭	昭和29.03.20	近世
48	広島	厳島	昭和27.11.22 (特史・特名)	古代
49	広島	摩訶庵らびに 菅茶山旧宅	昭和28.03.31	近世
50	香川	讃岐国分寺跡	昭和27.03.29	古代
51	福岡	水城跡	昭和28.03.31	古代
52	福岡	大宰府跡	昭和28.03.31	古代
53	福岡	大野城跡	昭和28.03.31	古代
54	福岡	王塚古墳	昭和27.03.29	原始
55	福岡	基肄(櫛)城跡	昭和29.03.20	古代
56	佐賀	名護屋城跡 並陣跡	昭和30.08.22	近世
57	佐賀	吉野ヶ里遺跡	平成03.05.28	原始
58	長崎	金田城跡	昭和57.03.23	古代
59	長崎	原の辻遺跡	平成12.11.24	原始
60	熊本	熊本城跡	昭和30.12.29	近世
61	大分	臼杵磨崖仏 附 日吉塔 嘉応二年在銘五輪塔 承安二年在銘五輪塔	昭和27.03.29	古代
62	宮崎	西都原古墳群	昭和27.03.29	原始

※ No. は、本冊子で紹介している特別史跡
※ 特別名勝(特名)、特別天然記念物(特天)との重複指定の場合、
指定年月日にその旨記載した。



文化庁文化財部記念物課

東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL 03-5253-4111(代)
URL <http://www.bunka.go.jp>



(記念物について)



福井洞窟ミュージアム × 岡山理科大学

福井洞窟特別史跡答申記念企画展

空

から見た 洞窟遺跡



●開催会場

福井洞窟ミュージアム

倉敷考古館

中津市歴史博物館

佐伯市歴史資料館

伊万里市歴史民俗資料館

唐津市末盧館

対馬博物館

岩下洞窟

洞窟遺跡は
どんな場所に
あるのだろう



令和 6 年

令和 7 年

10.26 ~ 1.26

(土) (日)

福井洞窟ミュージアム

長崎県佐世保市吉井町立石 473

主催

佐世保市教育委員会・ 岡山理科大学

後援

伊万里市教育委員会、唐津市教育委員会、
公益財団法人大原芸術財団倉敷考古館、
佐伯市教育委員会、対馬博物館、中津市教育委員会（五十音順）

お問い合わせ

佐世保市教育委員会文化財課 Mail: bunzai@city.sasebo.lg.jp
Tel: 0956-24-1111 (代表) Fax: 0956-25-9682

空から見た洞窟遺跡

開催館・会場のご案内



令和6年10月26日(土)～令和7年1月26日(日)

福井洞窟ミュージアム HP: <https://www.fukuicave.jp/>

令和6年12月4日(水)～令和7年3月9日(日)

倉敷考古館 HP: <https://www.kurashikikoukokan.com/>

令和6年12月3日(火)～令和7年1月19日(日)

中津市歴史博物館 HP: <http://nakahaku.jp/>

令和7年3月11日(火)～5月6日(火)

佐伯市歴史資料館 HP: <https://www.city.saiki.oita.jp/rekishi/default.html>

令和7年4月26日(土)～6月22日(日)

伊万里市歴史民俗資料館 HP: <https://www.city.imari.saga.jp/6538.htm>

令和7年7月8日(火)～9月28日(日)

唐津市末盧館 HP: <http://karatsu-bunka.or.jp/matsuro.html>

令和7年度企画展

対馬博物館 HP: <https://tsushimamuseum.jp>

会議室

11.2(土)・3(日・祝) 11:00~17:00

Hug&Comeたい! presents

はぐくむさい
『Hug&Come祭!』

着物の着付け、お面やうちわ作り、伝統の佐世保独楽、そしてSASEBONダンスなど、様々な文化を体験できます。家族みんなで、日本の伝統と楽しさを一緒に満喫しましょう!

◆ はぐくむ縁日

お子様も大人も楽しめる縁日! 自由に絵が描けるうちわやお面作り、さらにわなげなどで楽しい時間を過ごそう!

◆ 佐世保独楽

佐世保を代表する郷土民芸『佐世保独楽』で遊びませんか? 掛け声は「息長勝問勝競べ」。“どれだけ長く廻せるか全身全霊をかけて勝負しよう!” という意味が込められています。ぜひ、周りの方と一緒に楽しみたい!

◆ 手ぶらで浴衣体験

佐世保くちで使用する浴衣100着をご用意してお待ちしています。浴衣一式無料貸し出し、着付け無料。浴衣持ち込みOK。気軽にど来場ください。浴衣を着て、記念写真を撮ったり、SASEBONダンスに参加しよう!

◆ 舞台道具フォトコーナー

様々な公演で使用する舞台道具が大集合! 日本の伝統的な雰囲気の中、記念写真を撮影できますよ!

はぐくむたいと、日本の文化を楽しもう!



◆ SASEBONダンス

両日 ① 11:00~11:30 ② 13:00~13:30
③ 15:30~16:00

SASEBONダンスは、「盆踊り」と「トークフォークダンス」を合わせた“おしゃべりイベント”です!

普段関わりのない人との対話を通して、様々な価値観にふれることで、佐世保という場(佐世保の文化)を考えるきっかけとなること、そして佐世保で仲間を増やしていただきたいという想いで企画しました。参加者は2重の円形で着席し、「お題」に沿って、ひとり1分間ずつ目の前の方とお話した後、盆踊りを踊りながら移動して、お話をする方をリズミカルに変えていきます。20~30分間の間で、5~6名の“させば人”との出会いあり!!

小学生~大学生、社会人、我こそは、生粋の“させば人”という方、佐世保に来たばかりという自衛隊の方、米軍基地の方、移住者の皆さまなど、様々な方のご参加をお待ちしています!!

Hug&Comeたい!と一緒に当日の運営をお手伝いしてくれる人を募集します!



『Hug&Comeたい!』は、文化を育て、継承し、新しい佐世保づくりを目指す市民団体です。

Hug&Comeたい!の活動は、Instagramnでご覧いただけます。



関連事業

日本の伝統工芸体験「長崎刺繍」

鎖国時代、中国から伝わったとされる「長崎刺繍」。本物の道具(刺繍台・刺繍手うち針・めうち)や材料(絹糸・絹生地)を使って、初心者でも気軽に刺繍体験ができます。その技法を学びながら手仕事の面白さを体験してみませんか。

日時 11月3日(日・祝) 午前の部/10:00~12:00 午後の部/13:30~15:30

会場 アルカスSASEBO 3階 会議室 参加費 1,000円

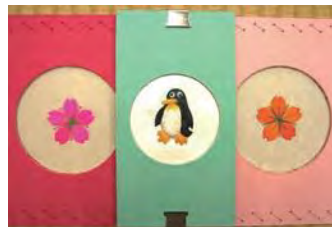
対象 小学4年生以上

人数 各回10名

募集期間 10月1日(火)~10月14日(月・祝)

申込方法 申込フォームからお申込み(※申込多数の場合は抽選)

※申込後、自動返信のメールが届かない場合、アルカスSASEBOへご連絡ください。



協力:長崎刺繍再発見塾



ながさきピース文化祭2025プレイベント

第13回 させば文化マンス

アルキヤス サセボ

キーワードは **100!** みんなで創り楽しむ **2**日間

11.2(土)・3(日・祝)

会場:アルカスSASEBO

観覧無料・参加費無料

0からOK

最新情報は
こちら



ータイムスケジュールー

	11.2(土)	11.3(日・祝)
大ホール	14:00~15:00 Let's Swing! 1日限りの100人ジャズプラスバンド	14:00~16:00 Let's Try! 書道パフォーマンス
イベントホール	10:00~15:00 Art×Peace ~キッズゲルニカ~	
会議室・和室	11:00~17:00 Hug&Comeたい! presents はぐくむさい『Hug&Come祭!』	
交流スクエア	9:00~22:00 (3日は17:00まで) ファンによる長崎ヴェルカ100枚写真展	
エントランスロビー	9:00~13:30/15:30~17:00 グランドピアノを大開放!	大ホールイベント中継
アルカス広場	アルキヤスマルシェ (仮称)	

※やむを得ず催しが中止、出演者や内容に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

〈主催〉アルカスSASEBO (佐世保市、公益財団法人 佐世保地域文化事業財団) TEL 0956-42-1111 (第2・4水曜日休館) <https://www.arkas.or.jp>

アルキヤスサセボ

キーワードは **100!** みんなで創り楽しむ **2**日間

させぼ文化マンスとは

2012年にさせぼ文化ウィークとしてはじまり、佐世保の文化を担う人・文化に触れる人を育て、文化を介した賑わいや交流の場を創ることを目的に実施している事業です。第13回目となる今回は、「100」をキーワードに、みんなで1つの作品やステージを創りあげる参加型のイベントを実施します。さまざまな人と出会い交流し、文化を創造する今年の文化マンス。アルカスSASEBOから文化の輪が広がります。 ※100は“大勢・みんな”を意味する目安の数字です。必ずしも参加者や作品数が100であるとは限りません。

大ホール

11.2(土) 14:00~15:00(開場13:30)

Let's Swing! 1日限りの100人ジャズブラスバンド

佐世保が誇る音楽文化「ジャズ」を大編成のブラスバンドで奏でます♪

指揮者はリーゼントがトレードマークの中村明夫先生。佐世保の吹奏楽文化の発展に溢れんばかりの情熱を注ぐ明夫先生と、公募で集まった小学生から大人までの年齢や学校・職業などさまざまな出演者で、この日限りの特別なブラスバンドを結成します。出演者はもちろん、観客のみなさんも一緒になって、思いっきりジャズブラスバンドを楽しみましょう!

※参加者の募集は終了しています。

予定
曲目

♪イン・ザ・ムード(J.ガーランド) ♪オーメンズ・オブ・ラブ(和泉宏隆)
♪A列車で行こう(B.ストレイホーン) ♪シング・シング・シング(L.プリマ) ほか

指揮:中村明夫



11.3(日・祝) 14:00~16:00

Let's Try! 書道パフォーマンス

長崎ゆかりのスペシャルゲストと公募で集まった小学3年生~6年生の計100人(予定)で、世界に一つだけの書道作品を制作します。

書道は6~7世紀ごろに日本に伝わり、現代まで受け継がれている伝統文化。デジタル化が進み文字を書くことが少なくなってきた今、改めて自分の思いや感情を文字に込め表現することを楽しみながら、作品創りをします。スペシャルゲストによる作品解説&参加者へのメッセージも予定しています!なお、制作した作品は今後、アルカスSASEBOをはじめ、市内での展示を計画中です!

イベント当日、大ホール内にお入りいただけるのは参加者およびその保護者1名までです。

大ホールの様子はエントランスロビーにて中継を予定していますので、一般の方はエントランスロビーにてご観覧ください。

参加者募集中! 応募締切は10月15日(火)です(先着順)。詳しくはHPよりご確認ください。

スペシャルゲストはイベント直前に
HPにて発表予定です。どうぞお楽しみに



イベントホール

11.2(土) 10:00~15:00

- レクチャー(キッズゲルニカの説明など)
- テーマの話し合い・下絵作成

11.3(日・祝) 10:00~15:00 | 制作 |

※途中、1時間程度の休憩あり。

Art×Peace ~キッズゲルニカ~

2025年に長崎県で開催される「ながさきピース文化祭2025(第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭)」へ平和への想いを繋ぐイベントとして、スペインの画家ピカソの代表作「ゲルニカ」と同じ巨大なキャンバス(縦3.5m×横7.8m)に子どもたちが平和への想いを描くアートプロジェクト「キッズゲルニカ」に、2日間かけて取り組みます。なお、制作した作品は「ながさきピース文化祭2025」開催までの間、アルカスSASEBOをはじめ、市内での展示を計画中です!

協力:長崎親善人形の会「瓊子の会」

作品制作の様子は一般の方も自由にご覧いただけます。なお、観覧の際は絵の具が服に付く可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

参加者募集中! 応募締切は10月15日(火)です(先着順)。詳しくはHPよりご確認ください。



交流スクエア

11.2(土)・3(日・祝) 9:00~22:00(3日は17:00まで)

ファンによる長崎ヴェルカ100枚写真展

2021年から佐世保市を選手の活動拠点とし、市民・県民に夢や希望を与え続けている長崎ヴェルカの姿を、ファンが撮影した100枚の写真とともに振り返る写真展を開催!これまでの感動や興奮がよみがえる写真の数々を、思い出とともにぜひご覧ください。

※佐世保市とのマザータウン協定の一環として実施します。

協力:長崎ヴェルカ

展示作品募集!
応募期間は9月30日(月)~10月18日(金)です。詳しくはHPよりご確認ください。



©n_velca

エントランスロビー

11.2(土) 9:00~13:30
15:30~17:00

グランドピアノを大開放!

普段、アルカスSASEBOの交流スクエアに設置しているグランドピアノを、1日限りで特別に開放します!時間内であれば、どなたでも自由にピアノを弾いていただけます。

※事前申込は不要です。当日、時間内にお越しください。

※希望者が多い場合は、譲り合ってお弾きください。多くの方がピアノに触れられるよう、ご協力をお願いいたします。



アルカス広場

11.2(土)・3(日・祝)
アルキヤス
マルシェ (仮称)

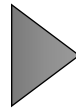
さまざまなお店が出店予定♪
ぜひお立ち寄りください。

軽装勤務の通年化（ナチュラル・ビズ）の実施について

これまで省エネルギー・地球環境保護の取り組みの一環として実施しておりましたクールビズ及びウォームビズに代わり、下記のとおり通年での軽装勤務（ナチュラル・ビズ）を実施いたしますのでお知らせします。

【これまで】

- クールビズ（5月～10月）
 - ・上着非着用、ノーネクタイ
- ウォームビズ（12月～3月）
 - ・防寒着などの着用



【これから】

- ・上着非着用、ノーネクタイの通年実施
- ・オフィスカジュアルの服装も可
（ポロシャツ、タートルネック、スニーカーなど）

【目的】

- ・ 気候や気温に応じて柔軟に服装を選択可能とすることで、冷暖房に頼りすぎずに快適な職場環境を確保するため。
- ・ 気候や業務の特性に応じて職員が主体的に適切な服装を選択することで、働きやすさや公務能率の向上を通じて、市民満足の向上を図るため。

【注意事項】

- ・ 名札を見やすい位置に着用します。
- ・ 市民の皆様にご不快を与えないような節度のある服装や着こなしを心がけます。
- ・ 議会、式典など、TPOに応じて上着やネクタイを着用します。

【実施時期】

令和6年11月1日～



佐世保市 総務部 職員課
担当：内野
電話：0956-24-1111（内線 2615）